

姫路平野を海に見立てると市川と加古川に挟まれた処に丁度、鹿の背のような小さい島々が群居しているように見える丘陵帯を周辺の山頂より望見できる。そこには無数の溜池が散在し、谷間にはモウセンゴケ・イシモチウ・サギツウ等が自生する湿地があり、トンボの生息地としては良い環境である。1971年と1972年、筆者はこの地のトンボを調査してきたので採集記録なすびに若干の気付いた事を記す。

(註) 採集記録は主に発見地が限られ目撃や採集した個体が割合、少ないものを記し、一般に多く目撃や採集したものは発見地のみを記した。調査範囲は印南郡・高砂市・姫路市東部が主な処です。

1. ホソミイトトンボ *Aciagrion hisopa*  
大藤山, 法華山, 城山, 竜山などの丘陵斜面で秋や冬に割合よく見る。加古川の河原のススキ群落より発見したこともある(1♂ 3.X.1971 小松原) 夏季に今まで当地で本種を見ていない。
2. キイトンボ *Ceriagrion melanurum*  
1♂ 1♀ 20.VII.1972 高砂市竜山
3. アジアイトンボ *Ischnura asiatica*  
ほとんどの溜池に見られた。個体数も多い。
4. アオモンイトンボ *Ischnura senegalensis*  
加古川下流の河原の草間や河口近付の水溜りに多く見られる。また興味あることには姫路市大塩の流下式塩田の水路(海水)や塩田付近の草間で少数の個体を発見した(1972年10月1日)。
5. クロイトンボ *Cercion calamorum*  
池沼・用水溝に普通。
6. セスジイトンボ *Cercion hieroglyphicum*  
池沼よりも用水溝に多く見られる。
7. ムスジイトンボ *Cercion sexlineatum*  
1♂ 28.IX.1971 印南郡七つ池 少ない種のおよである。
8. モリサシトンボ *Copera annulata*  
1♂ 12.VII.1971 七つ池 探せばもう少し発見できるだろう。

9. オツネトンボ *Sympecna paedisca*  
 ♀ 31.X. 1971 七つ池  
 池岸より100mほど南の丘陵の北向き斜面のススキ群落中より発見した。ススキの茎に静止していた。越冬場所であろう。  
 北方系のトンボであり、当地で発見できたことは珍しい。
10. ホリミオツネトンボ *Ceylolonolestes gracilis peregrinus*  
 高御位山, 城山, 大藤山の斜面に冬季に見られた。  
 個体数は多くないようである。
11. アオイトトンボ *Lestes sponsa*  
 ♀ 17.X. 1972 七つ池  
 北方系の本種が播磨地方で見られることは興味深い。
12. オアオイトトンボ *Lestes temporalis*  
 法華山, 高砂市市, 池, 竜山, 姫路市大釜池, 七つ池, 畑  
 秋季に多くの個体に接することができ。
13. コバネアオイトトンボ *Lestes japonicus*  
 ♀ 24.VIII. 1972 七つ池  
 七つ池ではアオイトトンボ, オアオイトトンボ, コバネアオイトトンボ  
 が混生していることになる。
14. ハグロトンボ *Calopteryx atrata*  
 流水域に普通であるが、高砂南部では見られなかった。
15. カワトンボ *Mnais strigata*  
 法華山・大藤山の小さな流れに生息している。  
 すべて透明型の個体であった。高砂や志方の低地を流れる河川には見られなかった。
16. フタスジサナエ *Trigomphus interruptus*  
 法華山・七つ池・志方町荒神谷・西山  
 5月頃, 個体数が発生地では多くなる。
17. ウチワヤンマ *Ictinus clavatus*  
 七つ池, 西山, 野深, 長楽寺, 東飯坂
18. オニヤンマ *Anotogaster sieboldii*  
 ほとんどすべての池に見られた。
19. ミルンヤンマ *Planaeschna milnei*  
 ♀ 15.X. 1971 城山 少ないようだ。

20. ギンヤンマ *Anax parthenope julius*  
 全域に見れるが、多いとは云えない。
21. ハネビロエリトトンボ *Somatocloa clavata*  
 18. IX. 1971 城山  
 本種については月刊むし10号に報告したがその後、1972年  
 9月15日、再度同じ場所に調査に来るとハネビロエリトトンボとい  
 い1個体を目撃した。採集困難なトンボである。
22. ハラビロトンボ *Lyriothemis pachygastra*  
 投松, 七ッ池, 法華山, 蕉谷, 西杖, 竜山, 城山, 東山, 東飯坂  
 菖蒲池, 野深, 苑寺, 駒ヶ池など 栖息地が点在している。  
 雌は雄より多いように見える。
23. シオカラトンボ *Orthetrum albistyrum speciosum*  
 極めて普通。
24. シオヤトンボ *Orthetrum japonicum japonicum*  
 丘陵周辺の溜池に見れる。
25. オオシオカラトンボ *Orthetrum triangulare melania*  
 丘陵周辺の溜池に見れる。個体数は前2種より  
 やや少ないようだ。
26. ヨツボシトンボ *Libellula quadrimaculata asahinai*  
 18. V. 1971 法華山  
 当日、多くの本種を目撃している。北方系の本種が当地  
 で得られた事は珍しい。
27. ショウジョウトンボ *Crocothemis servilia*  
 普通
28. コフキトンボ *Deielia phaon*  
 丘陵周辺の溜池や加古川の河原によく見る。
29. ナツアカネ *Sympetrum darwinianum*  
 普通。晩秋、白い紙屑に止まっているナツアカネをよく  
 見る。
30. アキアカネ *Sympetrum frequens*  
 秋になればどこでも多く見れる。

31. マヒアカネ *Sympetrum kumckeli*  
 ♀ 24. VIII. 1972 加西市駒ヶ池  
 1♂♀ 24. VIII. 1972 印南郡七つ池  
 ♀ 17. IX. 1972 印南郡七つ池  
 駒ヶ池, 七つ池の雌雄の個体の翅のつけねにコフキトンボの♀と  
 同いような橙色斑が見られた。東北地方や山岳地方の♀に  
 橙色斑の発達する個体が知られていることと合せ考えると面白い。
32. ヒメアカネ *Sympetrum parvulum*  
 ♀ 26. IX. 1972 姫路市豊富町黒田  
 ♀ 5. XI. 1972 印南郡志方町稚郷  
 1♂ 5. XI. 1972 = = 東飯坂
33. マユタテアカネ *Sympetrum eroticum eroticum*  
 丘陵周辺の溜池に特に多い。
34. リスアカネ *Sympetrum risirisi*  
 東山, 野尻, 七つ池, 奥池, 法華山, 竜山, 火田山, 小松原,  
 駒ヶ池。 個体数は多いとは言えない。
35. ノシメトンボ *Sympetrum infuscatum*  
 東山, 野尻, 七つ池, 法華山, 竜山, 米新, 火田山
36. ヨシメトンボ *Sympetrum baccha matutinum*  
 荒神谷, 火田山, 七つ池, 法華山, 城山  
 個体数は多くはない。
37. マダラナニワトンボ *Sympetrum maculatum*  
 1♂ 28. XI. 1971 志方町長楽寺  
 目撃として姫路市大釜池 (2exs 5. XI. 1972)  
 志方町西中 (1ex. 5. XI. 1972) がある。 少ない。
38. ナニワトンボ *Sympetrum gracile*  
 1♂ 12. IX. 1971 東山  
 1♂ 12. IX. 1972 七つ池  
 七つ池では他に多くの個体が見られた。
39. キトンボ *Sympetrum croceolum*  
 七つ池, 東山, 法華山, 長楽寺, 市池, 姫路市太尾, 火田山  
 駒ヶ池 など発生地には極めて多い。

40. ネキトンボ *Sympetrum speciosum speciosum*  
 1♂♀, 26. IX. 1972 姫路市黒田  
 周囲数メートルほどの有機質の多そうな溜池のまわりの草上  
 静止していたのを採集した。他にも1頭目撃した。
41. ウスバキトンボ *Pantala flavescens*  
 普通。
42. ヨシアキトンボ *Pseudothemis zonata*  
 丘陵周辺の溜池に普通。姫路城内堀にも見られた。
43. 4ヨウトンボ *Rhyothemis fuliginosa*  
 七つ池, 奥池, 野深, 扱松, 竜山  
 (目撃種など)
1. トラフトンボ *Epithea marginata*  
 1972年5月28日, 法華山と七つ池で各々数頭の個体を  
 目撃したが, 敏捷なトンボであるため採集不可能であ  
 った。
2. オオヤマトンボ *Epophthalmia elegans*  
 1971年5月16日, 加古川市里で1♀採集しているが, 播磨  
 中部丘陵ではまだ採集していない。そろめすかしいトンボ  
 でもないのだが, 近年このようなトンボが減少している  
 ようだ。

(短報) 生野でラミーカミキリを採集 森田 真澄

1972年7月26日, 生野町枋原(300m)の道端のヤブマオ  
 よりラミーカミキリ *Paraglenea fortunei* lex を  
 採集した。当時はカミキリを採集するために生野へ来たわけ  
 ではなかったため注意して探索しなかったが, 他には本種  
 を見えてなかった。なお, この個体は *m. innotata* に  
 似ているがルーペでよく見ると, 痕跡的に上翅基部に  
 白色絶がある。肉眼ではほとんど見えない。